

行 田 市

(1) 市町の特色ある生涯学習の取組について

○放課後子ども教室「わくわくクラブ」

- ・小学校の余裕教室や特別教室、地域公民館等を拠点として、北小、北河原小、西小、太田東小、東小、南小の計6校で活動している。
- ・北河原小は全学年、その他5校は1年生から3年生を対象としている。
- ・参加児童は、いきいきと活動に取り組んでいる。また、主に学校区から集ったスタッフもやりがいをもって運営にあたっている。

<今年度の主な活動内容>

- ・「昔遊び・ものづくり」・・・行田郷土かるた、追羽根づくり、凧づくり など
- ・「スポーツ」・・・ドッジビー、ボッチャ、スポーツ吹き矢、風船バレー など
- ・「文化・芸術体験」・・・薬師太鼓、マジックショー、演劇体験、合唱 など



南小「ペープサート(紙人形劇)」



東小「わくわく子ども食堂」

(2) 生涯学習活動の支援のための施策について

○市民大学

- ・第9期生35名、第10期生53名がそれぞれ全23回の講座で学んでいる。平成28年に設立したNPO法人行田市民大学活動センターの会員が主催者となり、実施状況を勘案し、内容等に検討を加え、カリキュラムの精選を行っている。

<主なカリキュラム内容 開校式：修了式を含む全23回～第10期生より抜粋～>

- ・郷土の地形となりたち ・第1回視察ツアー『のぼうの城』
- ・忍藩主は、なぜ徳川幕府に重用されたのか ・健康長寿の食生活 など

○忍藩子ども塾 素読教室

- ・公益財団法人忍郷友会が講座の講師選定を含め、教室運営を行い、市との共催事業として展開している。現在、約50名の子どもたちが、毎月第1・第2・第3土曜日の午前に3クラス(初級・中級・上級)に分かれて素読を行っている。
- ・言語文化に親しみ、豊かな言語感覚を養うこと、言葉を通して自分の思いや考えをうまく伝える能力や読書に親しもうとする態度を育てることをねらいとして、成果発表の場面を設けている。



市民大学グループ研究発表会



素読教室開校式

(3) 家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○子育てサポーター養成講座

- ・行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会、NPO 法人子育てネット行田が主催となり毎年開催している。本講座で得た知識や経験を、地域の子育て活動や自身の子育てに生かすことを目的としている。平成30年度は83名の申し込みがあり、5月下旬から7月上旬にかけて全7回、さまざまな分野の講師を招いて講座を実施した。受講者は、子育てサロンのスタッフなど、地域で活躍している。



真剣に学ぶ受講者



講師を招いた講義の実施

○子ども大学ぎょうだ

- ・ものづくり大学、NPO法人子育てネット行田、NPO法人行田市民大学活動センターと共に実行委員会を組織し、子どもたちの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することを目的として行っている。計6日間の学習プログラムで、最終日は学園祭として「浮き城のまち行田こどもまつり」に運営側で参加している。平成30年度は「外国人交流モデル事業」の講座を行い、小学4～6年生計35名参加した。



講義「タイのゴム畑」



マナビィとこどもまつりに参加

○同和対策集会所交流事業（みかん狩り）

- ・同和対策集会所事業として学力向上学級を実施している小・中学校9校の児童・生徒及び教職員・保護者の交流や親睦を目的とした集会所交流会を実施している。
- ・今年度は、みかん狩りに74名（児童・生徒50名、保護者・教職員24名）が参加し、自然体験活動や仲間とのふれあいを通して交流の輪を広げた。



みかん狩り



サワガニ取り

○成人式

- ・成人式で病院長による喫煙・飲酒防止の講演会を実施した。また、新成人を対象に喫煙・飲酒についてとまちづくりに関するアンケートを実施した。